緑の園 9月号

ヒルトップハイツ
グリーンプラザ
デイサービスセンター
だより

第１１１号
令和７年９月１日発行

Led Zeppelin/Live EP(2025)

９月２１日は世界アルツハイマーデーです。

あまりなじみのない記念日ですが、９月２１日は「世界アルツハイマー・デイ」です。

これは１９９４年「国際アルツハイマー病協会」が世界保健機関(WHO)と共同で毎年９月２１日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に「認知症」の啓発を実施しています。

また、わが国でも２０２４年１月に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」において国民の間に広く認知症についての関心と理解を深めるために、毎年９月２１日を「認知症の日」、９月を認知症月間と定めています。

認知症は年齢とともにその有病率(９０歳以上では約７割の方が罹っているといわれます)は上昇し誰にとっても身近なものとなっています。

この認知症、以前であればお医者さんから「あなたは認知症です」といわれた時から何もわからなくなる、普通の生活が送れなくなる、というイメージだったと思います。

しかしながら、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」では「新しい認知症感」(認知症になってからも個人として生きること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間たちとつながりながら、希望をもって暮らし続けることができるという考え方に立って地域の人たちの支えによって安心して生活できるよう応援することがこれからの認知症対応となります。

で、現在の２０２５問題に加え今後訪れる２０４０問題はあと１５年後に迫っています。

それぞれの「問題」の中身についての説明は省きますが、「新しい認知症感」にしたがってわたしは家内に「自分が８０歳になる１７年後、まずは認知症になるので自宅の連絡先がわかるようなものを身に付けさせておいてください」そして家族が、特に家内が手に余るようなことになったら施設入所を検討してね、とお願いをしたので将来は安心です。(おばら)

心温まるご寄付ありがとうございます。

先月当法人の運営する**修学資金貸与事業**に対しましてご寄付を賜りましたのでご紹介させていただきますとともに、心からお礼申しあげます。

ありがとうございました。

遠軽町丸瀬布中町
涌　島　正　成　　様

先月の出来事を紹介いたします。

北海道でも危険な暑さ…。といわれたほど先月前半は尋常じゃないほど暑かったですが、お盆を過ぎたあたりからすごしやすくなり、さすが北海道って感じです。

ヒルトップハイツでは１３日のお盆の入りに園内で盆踊り大会を開催いたしました。

皆さん楽しそうに参加されとてもにこにこ楽しそうでとても賑やかな時間でした。

グリーンプラザ/緑の園ではお盆時期たくさんのご家族がご面会に来ていただき、ご利用者様と歓談されるあたたかな光景は少しずつではありますが以前の生活に戻りつつあることを感じました。まだまだなんですけどね…。(終わり)

今月の予定を紹介します。

９月の行事予定を紹介いたします。

グリーンプラザは１７日(水)に丸瀬布の前川様にお越しいただきマジックショーを予定しておおります。

ヒルトップハイツは１０日、緑の園につきましては１７日のそれぞれの水曜日に敬老会を予定しております。ヒルトップハイツは今まで初めて(たぶん)の余興内容、緑の園はカラオケ大会を開催する予定です。今からとても楽しみです。

また、職員研修として「高齢者の口腔ケアの実際」と題して医療法人社団　緑稜会　みどりクリニック　歯科衛生士主任　中川愛　様より３日の水曜日にご講義を賜る予定となっております。

さて、いつもの会議ネタです。

昨年の１２月に１度紹介した内容の続編で「SNSが及ぼす影響について(その２)」です。

今年の夏の甲子園大会の１校は今年１月に発生した野球部員による不適切事案に関して同３月に高野連から当該校に対し「処分」が下された上での甲子園出場でした。世間てきに、野球部で起こった事案に対して(出場を含めた)「処分」の内容への批判があまりにも強くなったことから「生徒教職員、地域の方々の人命を守ることが最優先」として「苦渋の選択」だったが大会中の出場辞退となったと学校側から発表がありました。

今回のケースもSNSが大きく影響し日本中の注目が集まり、批判の急速な拡大は「処分」を受けて出場したはずの事案に対しても「出場辞退」を選択しなければならなかったことは改めてSNSの影響力の大きさを痛感しました。個人的にはそれに加えてSNSで事実でないこと、正しくないことが取り上げられて誤解されても、その誤解がもっともらしく思われたのではルールというか、本来あるはずの正当性がなくなってしまうことになるのではないかとても恐ろしく感じました。

たくさんの人から心ない言葉の暴力によって傷つけられその人の一生に深く残るであろう尖った言葉が彼らに浴びせられていました。

私たちの職務においても以前から指摘しているとおり、家族さんや業者さんが入館されている際ほんの一瞬断片的であっても職員と利用者さんの間でのやりとが乱雑だと受け取られる場面に遭遇したとき何気なくSNSに「乱雑に利用者を取り扱っている」と投稿されてしまえばたとえそれが誤解された情報だとしても取り返しはつかなくなります。

指摘された点については真摯に対応し反省は必要ですが間違った情報であったとしても広まった風評に関しては消すことはとても困難です。

デジタル・タトゥーという言葉があります。

反省し、改善した事案であっても「言葉遣いの悪い職員・職員」という一度ついてしまったレッテルをはがすことは容易にはできません。

私たちは職務上、言葉遣いに関しては今までも注意喚起を促してきたことでありますが我々のお年寄りへの言葉がけは不特定の人が聞いているということを今一度注意してください。

何よりその言葉がけはお年寄りに必要な言葉であるかどうか常に考えながら対応してもらいたいと思います。

私たちの仕事はお年寄りが幸せになってもらうことですから。以上。

今月もどうぞよろしくお願いいたします。(おばら)